

THE NARASHINO CHUO ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN

習志野中央ロータリークラブ週報

会 長 高橋 利幸
幹 事 鶴岡 健一

例 会 日： 木曜日 12 時 30 分

例会会場： 習志野商工会議所会館 3F

事 務 局： 千葉県習志野市津田沼 4-11-14

2025-26 年度 国際ロータリーのテーマ 国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ



「よいことのために手を取りあおう」

第 1 8 1 1 回 2 0 2 6 年 4 月 2 3 日例会

司会：三代川雄哉会員

週報：三代川彦博会員

◆ 点鐘 <高橋利幸会長>

◆ ロータリーソング 「我等の生業」

◆ お客様紹介

元米山奨学生 リュウ センチさん

◆ 会長挨拶 <高橋利幸会長>

会員の皆様、お疲れ様です。又、4 月 16 日の 40 周年記念例会祝賀会、布施國雄実行委員長を始め、実行委員会の皆様、会員の皆様、ご協力頂きありがとうございます。

宮本市長、時田ガバナー、パストガバナーの皆様、第 12 グループの 100 名の皆様にご臨席頂き盛大に終わることが出来ました。お客様にも大変喜んで頂き、良い 40 周年記念例会でしたよとお言葉も頂きました。心から皆様に感謝申し上げます。

本日、夜に第 12 グループ会長幹事会が、四街道ロータリークラブ主催で行われます。

改めて、その席で第 12 グループの皆様には御礼申し上げます。

又、卓話では、三代川雄哉会員より、ホームページの進捗状況や皆様の御意見をお聞きしてより良いものを作りたいと思いますので、活発なご意見をお願い致します。

ロータリー財団より、こどもの日健やかな成長を願ってメッセージが来ておりますのでご案内いたします。

平素よりロータリーの取り組みに暖かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ロータリーの会員は、世界で良い変化を生むために直面する課題に日々取り組んでいます。

来週は、「こどもの日」。ロータリー財団は、日本をはじめ世界中の子供たちの未来をつくる皆様の活動に心から敬意を表します。

モンゴルの首都ウランバートル郊外のゲル地区では、グローバル補助金の支援により、学校の 2 つの図書館が改装され、3,400 人の子供たちが利用できる

ようになりました。

ゲル（ユルト）は伝統的なテント型住居ですが、この地区の上下水道や電気が整っていない家庭も多く、教科書を購入できない家庭も少なくありません。学校も過密状態で、十分な教材が行き渡らない状況があります。

新しくなった図書館には、勉強に必要な教科書や資料が揃っており、暖かい環境のなかで学習したり、個別指導受けたいりできます。また、地域住民が集うコミュニティスペースとしても活用されています。このプロジェクトは、日本の大阪東ロータリークラブとモンゴル・ウランバートルの Khuree ロータリークラブが中心となり、日本とモンゴルの複数のクラブが協力して実現しました。ローターアクトクラブがスポンサーとなって初めてのグローバル補助金としても、大変意義深い取り組みです。

このようは奉仕プロジェクトを通じて、子どもたちは自分の可能性を広げ、未来への大きな一歩を踏み出すことができます。こうした取り組みは、皆様からのご支援によって成り立っています。日頃の暖かいご寄付と地域社会の発展に向けたロータリーの活動へのご理解に、心より御礼申し上げます。

ロータリー財団より、このようなメッセージが来ましたので、会員に皆様にご理解を頂き、財団への暖かいご寄付をお願い致します。

◆ 幹事報告 <鶴岡健一幹事>

1. 奨学生及び世話クラブ・カウンセラー研修会開催について

2026 年 5 月 23 日（土） 12：30 受付開始
千葉市生涯学習センター

2. 2790 地区プラモデル同好会

2026 年 5 月 30 日（土） 13：00～
ちばセミナールーム

3. 本田土木工業株式会社（高山貴子会員）より寄付を頂きました。 米山功労法人 200,000 円
ロータリー財団功労法人 1,000 ドル

◆ 委員会報告

□ 青少年奉仕委員会 <金子友之委員長>

皆さんこんにちは、青少年奉仕委員会の金子です。
5月23日土曜日の9時～13時、香澄ふれあい公園の少年野球グラウンドにて、習志野中央ロータリークラブ主催の少年野球大会を開催します。

主な内容は、エキシビジョンマッチを1試合、そして千葉スカイセラーズによる野球教室の2点となります。参加賞として、各チームに野球用品を贈呈しようと考えております。

会場の設営や試合の運営等は参加チームのスタッフが中心となって行いますが、開会式と閉会式については当クラブが運営する事と考えております。詳細が決まり次第共有させていただきます。

◆ 元米山奨学生 リュウ センチさん

みなさん、こんにちは
40周年おめでとうございます。

今年の4月から大学院に進学しました。専攻はデザイン科専攻です。また、マネジメント工学の副専攻も取っています。最近は就職に向けて会社説明会に参加したり、夏のインターに向けて動き始めています。これからも時間がある時は例会にも参加したいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

◆ ニコニコボックス

井本良三会員

入院中お見舞いを頂きありがとうございました

◆ 卓話

□ 三代川雄哉会員

テーマ ホームページの再構築と今後の運用について



本日の卓話では、広報公共イメージ委員長である三代川より、当クラブのホームページについてお話をさせていただきます。

まず現状として、これまでホームページは「作って終わり」となってしまう、運用が継続できず、現在は閲覧できない状態となっています。

これは多くの団体にも共通する課題ですが、だから

こそ今、持続可能な仕組みとして再構築する必要がありますと考えています。

ホームページは単なる情報掲載の場ではなく、**24時間 365日働く“ロータリークラブの公式の顔”**です。活動内容を知ってもらうだけでなく、入会を検討されている方や地域の方々にとって、信頼できる情報の入口となります。

今回の提案では、これまでの反省を踏まえ、

- ・誰でも更新できる仕組み
- ・特定の担当者に依存しない運用体制
- ・SNS (Instagram) と連動した発信

などを取り入れ、継続できる形での運用を目指しています。

また、仮に今回の業者との契約が終了した場合でも、ホームページ自体はクラブの資産として残り、手間は多少かかるものの、私たち自身でも運用が可能な仕組みとなっております。

すでに本件については理事会にて承認をいただいております、現在は仮のホームページも作成しております。

(参考：<https://narashino-chuo-rc.vercel.app/>)

また、当クラブの大きな特徴である「幅広い世代の会員構成」は大きな強みです。

40周年記念例会においても来賓の皆様から評価をいただいた点であり、この強みを活かしながら、誰もが関われる広報体制を築いていきたいと考えています。卓話後には会員の皆様から多くの貴重なご意見をいただきました。

- ・クラブの概要が簡潔に分かる文章を掲載した方がよい(海外のロータリークラブから「どのようなクラブか」との問い合わせがあった事例あり)
 - ・写真はモノクロではなくカラーで掲載した方がよい
 - ・週報と同様に、毎月のプログラムも掲載することで、会員自身がホームページを見るきっかけになる
 - ・トップページには複数の写真をスライド形式で掲載し、活動の様子を分かりやすく伝える
- など、実際の活用を見据えた具体的にご意見をいただきました。

広報公共イメージ委員長として、また最年少会員の一人として、この取り組みをしっかりと形にし、継続していく責任を感じています。

今後は、どのようなホームページにしていくべきか、会員の皆様のご意見を伺いながら進めてまいります。引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◆ 出席委員会 中西秀治委員

会員数	当日出席	メイクアップ	出席免除	出席	欠席	出席率
46	26	4	1	30	15	64.44%